

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

整理番号 615

事業名	県玉葱協会負担金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	農業振興部	農林振興課		款	農林水産業費・6款
電話	0799 - 43 - 5025			項	農業費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	農業総務費・2目	
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	職 <u>食</u> づくり <u>夢あふれ</u> 働く場を生み出すまちづくり			
	まちづくりの目標	ふやさんか <u>食</u> づくりの担い手【農漁業】			
	施策目標	食づくりの源である豊穰の大地と海を守り、農業や漁業に携わる市民(若者、女性、元気な高齢者層など)を育てる			

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳)			
		兵庫県玉葱協会(市内玉葱出荷者)			構成人数(人) 6,000
		活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 検査員の資質の向上、出荷企画の統一、優良品種の選定、			
	実施内容	(主な事業、活動内容等)			
		総合防除の徹底や、検査員の講習会の開催。競合他産地の精算出荷状況調査。			
	団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など)			
		淡路市、洲本市、南あわじ市のほか、兵庫県農林関係機関及びJ A			
補助金算出根拠	事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体	<input type="checkbox"/> 市役所	<input type="checkbox"/> 市単位 () <input type="checkbox"/> 旧町単位 () <input type="checkbox"/> 旧村単位 ()	
	3市とJ Aとの均等割り。市負担分は、作付け面積割				
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし			
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)				
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から				

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インパクト	直接事務費 (千円)	3,809	3,809	3,700	3,452
	県玉葱協会負担金	3,809	3,809	3,700	3,452
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	3,809	3,809	3,700	3,452
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)				
	事業量2(事業に要した人数)				
	年間経費([A]+[B])	3,809	3,809	3,700	3,452
	「構成人数」一人当り経費 (千円)	0.6	0.6	0.6	0.6
受益者人数(6,000) 1人当り経費(千円)	0.6	0.6	0.6	0.6	
経費に関する 補足説明					

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 生産振興対策や流通改善対策及び出荷対策等は、効果がなかなか出にくい。	自己評価 (5点評価)
		3
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 協会が実施すべき事業は、減少してきている。	自己評価 (5点評価)
		3
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 主要生産物である玉葱の産地を維持していくためには、必要な広域組織である。構成団体と協議しながら事業内容を見直し、負担金を削減していく。	<div style="text-align: center;"> <p>評価グラフ</p> <p>費用対効果 必要性</p> </div>

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減
	協会は、兵庫県の玉葱生産の施策を広域的に協議している会であるので継続していく必要がある。	同左
(現状維持以外の改善方法)	会議の予算(事業内容)を見直す。	同左
改善によって期待される効果	事業費の削減	同左
(現状維持の場合も記入)	仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 産地維持に支障を来たす。	